

東京都教育委員会（所在地：新宿区西新宿2-8-1 東京都庁第二本庁舎16階）

事業名 「インクルーシブな学び東京コンソーシアム」事業

事業の趣旨・目的

- ・多様な人が共に支え合う共生社会の実現に向けた取組として、関係機関や企業、NPO等の団体と連携・協働し、障害者の生涯学習支援体制の構築を進める。
- ・具体的には、東京都教育委員会が企業やNPO等の交流、情報交換の場を提供することで、障害のある人々の生涯にわたる学びを支援するとともに、障害のある人もない人も共に学べる環境づくりに向けた取組を展開し、互いの個性を認め合い、多様性を尊重しながら支えあえるインクルーシブシティの実現を目指す。

事業内容

- ・コンソーシアム総会の開催
都内で障害者の生涯学習に関する事業を実施する17団体が集まり、基調講演及び参加団体事業紹介等を実施
- ・共生社会コンファレンスの開催
今年度は、「障害者の生涯学習とアート（文化芸術活動）」と「若者ボランティアと障害者の出会い」をテーマにしたシンポジウムを開催
- ・研修の開催
障害の有無に関係なく誰もが参加できるインクルーシブな活動を実施するには、どのような支援が必要となるのか。本研修では、多くのインクルーシブな事業を展開している団体の代表を講師にむかえ、事業が継続できるための方法について学ぶ研修とした
- ・各種事業の実施に向けての委員会の開催
共生社会コンファレンス、コンソーシアム総会の開催に向け、内容の検討、参加団体の調整等を実施

事業実施体制・連携先

- ・コンソーシアム事務局
東京都教育庁地域教育支援部生涯学習課
- ・コンソーシアム参加団体
NPO法人Collable、認定NPO法人ハズオン東京、社会福祉法人愛成会(アートサポートセンターRights)、NPO法人ピープルデザイン研究所、ほか

今年度の取組状況

- ・コンソーシアム総会を開催したことによる成果・効果
都内の様々な団体の事業内容や取組についての情報を把握することが可能となった。また、多様な人が良い関係性を築き、良い関係性を維持するための取組をデザインすることが重要であることを認識した。さらに、様々な課題への対応と運営形態の在り方について今後の行政による事業運営の参考となった
- ・共生社会コンファレンスを開催したことによる成果・効果
これまでに約800回の視聴があり、通常のシンポジウムよりも多くの人々の目に触れることが可能となった。また、登壇者の団体がコンソーシアム参加団体になる等、コンソーシアムのネットワーク拡大のきっかけとなった。
- ・区市町村職員を対象にした研修を開催したことによる成果・効果
区市町村の障害者の生涯学習の担当者とのネットワーク拡大のきっかけとなるとともに、教育委員会職員だけではなく、障害福祉、文化・スポーツ等の職員と交流する機会となった。

その他

インクルーシブな生涯学習活動を
充実させるために必要なこと
～文化芸術活動を事例に～



Z世代とつくるインクルーシブな
交流の場



コンソーシアム総会



共生社会コンファレンス



研修